

製品名: SOCS-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18091**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300 |
| 分子量 | 22kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | SOCS2 |
| 別名 | SOCS2; CIS2; SSI2; STATI2; Suppressor of cytokine signaling 2; SOCS-2; Cytokine-inducible SH2 protein 2; CIS-2; STAT-induced STAT inhibitor 2; SSI-2 |
| 遺伝子 ID | 8835.0 |
| SwissProt ID | O14508 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト SOCS-2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 18-67 |

背景

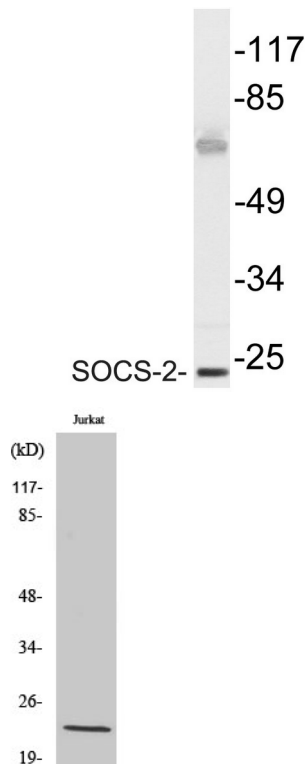
この遺伝子は、サイトカインシグナル伝達抑制因子 (SOCS) ファミリーのメンバーをコードします。SOCS ファミリーのメンバー

は、Janus キナーゼ/シグナル伝達および転写活性化経路 (JAK/STAT 経路) を介したサイトカイン受容体シグナル伝達の、サイトカイン誘導性の負の調節因子です。SOCS ファミリータンパク質は、シグナル伝達複合体の主要分子と相互作用し、受容体またはシグナル伝達タンパク質のユビキチン化を介したプロテアソーム枯渇によって、部分的にさらなるシグナル伝達を阻害します。この遺伝子の発現は、エリスロポエチン、GM-CSF、IL-10、インターフェロン (IFN) - γ などのサイトカインのサブセット、および成長ホルモン受容体などのサイトカイン受容体によって誘導されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インスリン様成長因子-1 受容体 (IGF1R) の細胞質ドメインと相互作用し、IGF1R を介した細胞シグナル伝達の調節に関与していると考えられています。この遺伝子はドメインを持っています:SOCS ボックスドメインは、さまざまな E3 ユビキチンリガーゼ複合体のアダプターモジュールである Elongin BC 複合体との相互作用を媒介します。機能:SOCS ファミリータンパク質は、サイトカインシグナル伝達を制御する古典的な負のフィードバックシステムの一部を形成します。SOCS2 は、成長ホルモン/IGF1 シグナル伝達経路の負の調節因子であると考えられます。SCF のような ECS (Elongin BC-CUL2/5-SOCS-ボックスタンパク質) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体のおそらく基質認識成分であり、標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介します。誘導:エリスロポエチンや顆粒球マクロファージコロニー刺激因子 (GM-CSF) などのサイトカインのサブセットによって。経路:タンパク質修飾;タンパク質ユビキチン化。類似性: SH2 ドメインを1つ含む。類似性: SOCS ボックスドメインを1つ含む。サブユニット: IGF1 受容体、プロラクチン受容体、成長ホルモン (GH) 受容体と相互作用する。エロンギン BC 複合体と関連する。組織特異性: 心臓、胎盤、肺、腎臓、前立腺で高発現。、

研究分野

Jak_STAT;インスリン_受容体;II 型糖尿病;

画像データ



SOCS-2 抗体を使用した、Jurkat 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。

1: 1000 希釈の SOCS-2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウエスタンブロット分析

